

清流長良川漁場の再生への取り組み

1 社会資本の概要

岐阜県を縦断する長良川は、流域の人々のくらしの中で清流が保たれ、その清流の中でアユが育ち、清流とアユは、地域の経済や歴史文化と深く結び付いています。長良川は、人の生活、水環境、漁業資源が相互に関連しています。

特に、長良川の最上流部に位置する郡上市内で獲れるアユは「郡上鮎」と呼ばれています。平成19



清流長良川上流域

年には河川産天然魚類で最初に地域団体商標に登録となり、平成20年には、第11回全国清流めぐり利き鮎会においてグランプリを獲得するなど、名実ともに日本一のアユといえます。

さらに平成27年に、「清流長良川の鮎」として世界農業遺産に認定されました。



世界農業遺産の「清流長良川の鮎」

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

一級河川の長良川の当地区（郡上市大和町徳永地内釜淵橋下流）は、以前は河底に玉石などの堆積物で厚くできた瀬や淵があり、多様な河川環境がありました。

しかし近年、度重なる出水により、長良川徳永地区の河床の低下が進行し、河川護岸の基礎に悪影響を与えるようになりました。また、河床低下に伴う岩河床が広がり、長良川上流のブランド「郡上鮎」

の生息環境として不適な区間でした。

そのため、河床低下対策と生物生息環境の改善が課題でした。河川管理者の岐阜県は、流域住民の代表者、漁業協同組合関係者などで構成するベストリバー検討会を設置し、清流長良川の自然、景観を損なうことがないよう協議を進め、伝統的な石組工法による分散型落差工を実施しました。

さらに、「郡上鮎」の生息環境保全と生産性向上を目指す漁業協同組合も一体となり、長良川の清掃活動及び地域の担い手育成を継続的に行っています。



河床低下対策（分散型落差工）の施工位置



石組工法による分散型落差工の施工状況



岐阜県郡上市 郡上漁業協同組合 / 岐阜県

3 活動の成果や波及効果等

魚類の生息環境が改善され、生息数も増え、釣り人も増加しています。

さらに魚類生息環境の維持と清流長良川を地域全体で守るため、清掃活動を実施するとともに、若い担い手を育てるため、アユの放流や釣り大会を実施しています。

この地域の担い手を育てる継続的な活動により、参加した子供たち（地元の中高生）が主体となり、アユ釣り大会を開催しています。



若い担い手を育てるアユ釣り体験



地域の担い手によるアユ釣り大会

喜びの声



受賞者

郡上漁業協同組合
代表理事組合長 奥村義雄

コメント

この度の受賞は、漁業に携わる後継者育成や、流域の環境保全、啓蒙活動等に取り組んできた事例が認められたものと思っています。

今後も官民一体となって良好な河川環境を育み、利用しながら、流域の漁業をはじめとする産業振興を図りながら「世界農業遺産 清流長良川の鮎」の更なる地位向上に努めてまいりたいと考えています。

活動内容

長良川源流の森育成事業（広葉樹の植樹）の実施、後継者育成事業（小学生放流体験学習、釣り教室等）の実施 など

活動の経緯

平成21年～ 検討会

手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

岐阜県郡上市大和町徳永地内

活動主体及び連絡先

郡上漁業協同組合
(0575-65-2562)

対象となる社会資本

釜淵橋下流分散型落差工
※管理者：岐阜県

